

ウラジログシから ウスイロオナガシジミの終齢幼虫を採集

黒井和之

筆者は、1985年5月19日、温泉町花口にて、ウスイロオナガシジミ *Antigius butleri* Fenton の終齢幼虫3exs.をウラジログシより採集し、羽化させているので報告しておく。

当日は、ヒサマツミドリシジミの幼虫採集を主目的に同地を訪れ、ヒサマツ幼虫のほかに *Antigius* 属の幼虫を発見、ミズイロオナガシジミの幼虫と思い持ち帰った。詳しく調べることもなく、そのままウラジログシを与えて飼育を行った。6月10日に2exs.、6月11日に1ex. が羽化した。驚いたことにウスイロオナガシジミであった。

福田らによれば、ウスイロオナガシジミの主要食樹はブナ科コナラ属のミズナラ、カシワ、ナラガシワであり、アラカシを与えれば飼育することはできるが、自然状態では常緑広葉樹のウラジログシが食樹になっていることは報告されていない。近縁種のミズイロオナガシジミは、アカガシ亜属のウラジログシ、アカガシ、アラカシで産卵が確認され、与えれば正常に成長することが報告されている。

ウスイロオナガシジミが自然状態でウラジログシを、どの程度の頻度で食樹としているのか、興味ある課題として報告しておく。

参考文献

- 福田晴夫ほか（1984）原色日本蝶類生態図鑑（Ⅲ），保育社，大阪。
白水隆・原章（1960）原色日本蝶類幼虫大図鑑，保育社，大阪。